



第78回国民スポーツ大会冬季大会(スケート・アイスホッケー)4日目

北海道・苫小牧市にて開催されている、第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会も、いよいよ後半戦に入った。まだまだTEAM福岡の活躍から目が離せない。

フィギュア成年女子、SP・FSの結果により堂々の5位入賞!!

nepia アイスアリーナにてフィギュアが行われた。30日のSP(ショートプログラム)で上位に入り、FS(フリースケーティング)に出場した成年女子の江川マリア選手(明治大学)、鴨井彬莉彩選手(福岡フィギュアアカデミー)。SP演技終了時に、FSの目標として語った「ノーミスの演技」とはならなかったが、まとまりのある内容で演技を終了した。結果は5位入賞。大会終了直後にもかかわらず、両選手ともに、来年の大会への出場意欲に満ちていた。

江川選手のコメント

FSではちょっと乱れてしまったところもあるが、演技全体としては上手くまとめることができた。5位入賞で大会を終えられたことは良かったと思う。まだまだ伸ばせる部分があるので、次の国スポに向けて頑張りたい。

鴨井選手のコメント

FSの演技はちょっと悔しい部分もあったので、福岡に戻ったら一から見直していきたい。来年の国スポでまた代表に選ばれて、次こそはノーミスの演技ができるようにこれからまた頑張りたい。



江川選手



鴨井選手



表彰後の様子

アイスホッケー少年男子、1回戦で神奈川県に敗れ、2年前のリベンジ達成ならず!

ダイナックス沼ノ端アイスアリーナにて行われたアイスホッケー少年男子1回戦。対戦相手は2年前の栃木国体で敗れている神奈川県。雪辱に燃え、挑んだ本県は、第1ピリオドから果敢にシュートを放つも、パス回しの速い相手に苦しめられ、0-9での悔しい敗戦となった。

林田光汰朗選手(九州産業大学付属九州産業高校)のコメント

2年前のリベンジを誓って挑んだ今大会であったため、負けてしまって悔しい。この悔しい思いを次に繋げていきたい。大学に進学しても成年選手として国スポに出場し、福岡県に貢献したい。



アイスホッケー少年男子

アイスホッケー成年男子、2回戦で前回優勝の北海道に敗れる!

アイスホッケー成年男子は、2回戦で特別国体優勝チームである北海道と対戦した。序盤から相手の個人・チームとしての力が一枚上手であると感じさせられる展開となり、0-16で敗れる結果となった。点差は開いたが、全力で最後まで戦った本県にとっては、収穫のある試合にもなった。今後の成長に期待したい。



試合中の様子

TEAM福岡、スケート競技会において女子総合成績(皇后杯)8位入賞!!

31日時点で、スケート競技会(スピード・ショートトラック・フィギュア)が終了し、スケート競技において、本県は女子総合成績8位入賞となった(男女総合成績は9位)。21日からはスキー競技会が開幕する。頑張れ、TEAM福岡!!